

令和6年第5回教育委員会定例会 議事録

1. 教育長あいさつ

改めまして、4月1日より教育長に就任しました堀康弘です。教育長という職責の重さに身が引き締まる思いです。微力ではありますが、誠心誠意勤めますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今春までで34年間公立学校教員として勤務。講師2年、教諭を13年、県教委での人事管理を3年、浜田教育事務所で3年指導主事、津和野中で教頭を3年、この江津市教委で指導主事を3年、県教委で人事管理を3年、江津中学校で校長として3年、浜田教育事務所長として2年勤務した後に、辞職し教育長に任命されました。これまでの経験を活かして、江津市の子どもたち、そして市民の皆様のために強い使命感をもって勤めてまいります。

4人の教育委員の皆様は、PTA 役員経験者であり、豊富な教職経験者であり、いずれの方も高い識見をおもちです。一般の住民の意向を教育行政に反映していく、いわゆる「レイマンコントロール」として、忌憚のないご質問やご意見を賜りますようお願いいたします。

さて、新年度がスタートして1か月が経ちました。学校現場では、子どもたちも教職員も新しい環境に慣れてきたところだと思います。各小中学校では、校長先生方のリーダーシップのもと良いスタートが切れたことと思います。各学校の児童生徒については、新一年生、教職員では新たに転勤してきた教職員が特に気になるところです。校長会や教頭会でしっかりと目配り気配りをするよう注意喚起をしているところです。基本的な考え方として、江津市内の子どもたちが安全で安心できる教育環境のもとで健やかに成長するためには、一番の教育環境である教職員の心と身体が健康であることが大前提となります。言い換えれば、令和の日本型学校教育でめざすところである子どもたちのウェルビーイングを願うためには、まずは教職員のウェルビーイングが保障されるべきでないか実現しません。自分の仕事に充実感や達成感をもちながら、ワークライフバランスを図り、子どもたちの成長を支えてもらいたいと願っております。

2. 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3. 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、天倉委員と岡田委員にお願いします。

4. 議決事項

・議案第 11 号 令和 6 年度主任等の任命について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

・議案第12号 江津市小、中学校管理規則の一部を改正する規則制定について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

・議案13号 江津市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

・議案第 14 号 江津市立小中学校プール施設整備方針について

○大石課長より説明

<委員からの質疑等>

○福田委員

年に何回かしかないスイミングの時間の中で、子供たちが少しでも泳ぐこう力をつけようと思ったら、専門の方が教えられた方が確実に上手になるのではないかと。先生の負担の軽減の意味も含めて、スイミングスクールを使っただけの授業みたいなことをやりながら最終的にそこまで行けたら本当に一番いいのかなと思う。お金もかかることなので、プール整備に必要な2億3億を他に回せたらいいのではないかと。

○大石課長

統合小学校の建設にあたって、プールのある絵で説明をしているため保護者の皆さんは当然できるものだと思っておられるかもしれない。合意形成は大事なので、今回プールを作らない方針についてアンケートはしていきたい。

○教育長

水難事故等を考えると着衣水泳の学習は必要。実技指導がないにしても映像を見たり、万が一の時はこうするんだよというような指導は、あるべき。

・議案第 15 号指定校変更について

○大石課長より説明

<委員からの質疑等>

○福田委員

指定校変更の許可基準の 5(6)は何にあたるのか。

○大石課長

5(6)は友人関係への配慮等。1年ごとに申請されていたがこの度卒業までの期間について申請があった。

・議案第 16 号江津市社会教育委員の委嘱について

○植田課長補佐より説明 委員からの意見・質疑なし

・議案第 17 号江津市図書館協議会委員の任命について

○植田課長補佐より説明 委員からの意見・質疑なし

・議案第 18 号江津市人権・同和教育推進協議会委員の任命について

○西村係長より説明

<委員からの質疑等>

○福田委員

委員の数が増えたということか。

○西村係長

ももとは、支援配置校と指定校の校長先生二名ずつだったが、昨年校長会の方から指定校の2名と市教研の人権同和教育部長の3名体制という形にして欲しいと言われたが、今回津宮小学校の土井校長先生が指定校に該当するところと、市教研の教育部長にあたっているところで2名減ということになっている。

5. 報告事項

①令和 6 年度 6 月補正予算について

○大石課長より説明

今回島根県から現場業務改善実践研究事業を委託するのでやってほしいという声があり歳入歳出とも 100 万円を計上。

事業内容としては、

- ・タブレット端末の持ち帰りに使用する充電アダプターの購入
- ・学校集金をスマホ決済に
- ・講演会の開催

モデル校として、津宮小学校と江津中学校を指定して、働き方改革に繋がる事業を行うことになるが内容についてはまだ煮詰まっていない。

○教育長

実践研究なので、やったけど効果は出なかったという報告もありだと思っている。

これまでやってなかったけど充電アダプターを買ってこういうふうにしたら業務改善が図られた、もしくは図られなかった。だから別のものがないんじゃないかというのも、報告としては十分有効ではない

かと思う。

○大石課長

留守番電話の導入も選択肢の中に入っている。導入するかは校長会等で議論し、今後もしやるなら統一したやり方をしていきたい。協議してこれをやろうということになると、その経費がここへ出てくる可能性もある。

<委員からの質疑等>

○福田委員

1年間で100万円なのか。使いきれなかったときは、繰越ができず返すのか。であれば上手に使う必要がある。

○大石課長

委託期間は3年であるが、予算は1年ごとなので繰り越しはできない。

○佐々木委員

物を買って、継続的に使える方がいいと思う。教職員の負担を減らしたけれどもこれが終わった時に補助が必要になってくるのではないか。

○大石課長

安来市はR3～R5年度の3年間やられたが、ほぼ半額をインターネットバンキングの使用手数料に使われた。インターネットバンキングの使用手数料が月1700円一校あたりかかる。決済手数料については3年終了したら、保護者にも負担をしていただく形を考えられている。

○天倉委員

現場業務改善なので、最終的には仕事を減らしてもらうのが一番大事だと思う。仕事を減らしてもらわないと改善にはならない。減らす方向で考えられるものを検討してもらうとよい。

○大石課長

その減らしたものが教育委員会の仕事にならずお互いいい形になればよいと思う。スクラップしていかないと。

○岡田委員

年度末にこういうことに使ったという報告を示してほしい。

② 相談箱の投函に係る対応

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

【追加報告】西部統合小学校の建設(進捗状況)について

○大石課長より説明及び報告

新たな工事用道路の計画と今後のスケジュールについて報告したい。

現時点でのスケジュールと工事用道路の変更について、4月25日に議員連絡会で説明した時に使用した資料により説明

6. その他

①学力育成に係る取組、生徒指導・特別支援教育に係る取組について

○泉指導主事より資料により学力育成に係る取組について説明

<委員からの質疑等>

○岡田委員

英検の補助金について、受検者が減っているが来年度以降の補助の継続は難しい状況か。

○泉指導主事

学校の方から継続したいと思っているのか打ち切ったほうがいいのか情報収集はしていない。学校によってとらえ方がまちまち。

○岡田委員

先生の負担を考えると心苦しいが、大切な機会なので続けてほしい。

○泉指導主事

教員の働き方改革の観点からも試験監督をする先生の負担になっているという意見もある。

○佐々木委員

働き方改革も大切だが総合的に考えていかないといけない。

コミュニティスクールの問題にしてもその辺が絡んでくる。子供にとって、こうやってやろうと思うと、それだけの負担がどこかにかかってくるのでその辺のバランスを考える必要がある。

○福田委員

教育委員会としては、受けて欲しいが受けるにあたっては先生に勤務時間外に働いてもらうことになる。着眼点や手法を変えることで解決できることもあるのかもしれない。

○教育長

校長会や教頭会とも協議しながら、せつかく市費で全国共通の試験を受ける貴重なチャンスなので検討していきたい。

○小田指導主事より生徒指導・特別支援教育に係る取組について説明

<委員からの質疑等>

○天倉委員

昨年度末に、指定校変更の理由に、生徒指導の課題をあげている家庭が2つぐらいあったと思う。各学校でも、それぞれに取り組んでおられるところではあるが、なかなか学校だけでの対応が難しく、最終的にそういう判断を親御さんがされたのかなと思う。特別支援や生徒指導は、縦だけの指導ではなく、横、もう少し事前に各学校と連絡が取れば良いということを感じる。

○岡田委員

最近の中学生のいじめというと、大体どういった内容か。

○小田指導主事

軽微な悪口を言ったとか、そこまでは出ていないが SNS とか LINE による誹謗中傷というものもあるのでこれからはそちらが心配。

○天倉委員

現場で勤務していると、学校訪問や指導をまた受けるのかと思うことがあった。教育委員の学校訪問も含めて、いろいろな担当が学校訪問をされる時に、横の繋がりを持って各学校にも知らせてもらえると、各学校の準備が進むのではないか。

○教育長

校長会を通じてしっかり計画的にアナウンスし、なるべく負担が掛からないように配慮したい。

②江津市自死対策連絡協議会委員の推薦について

○大石課長

これまで岡田委員を推薦してきたが、この度の任期満了にあたりどうすればよいか。

○岡田委員

再任を承諾

【その他】

統合小学校についての要望

① 個別の部屋について

○佐々木委員

個別の自習部屋的な感じの部屋が何部屋か必要。最低でも3つか4つは欲しい。大きい部屋を作り、必要に応じて区切って使い、何も無い時には多目的に使えるような部屋がよい。

○大石課長

相談室的なものは作ろうと思っている。

② 庭について

○佐々木委員

子供たちが手づくりできるような畑があるとよい。用務員の仕事は若干増えるかもしれないが、花を植えたり、自分たちの花壇を作ったりというような形で使えるような場があるとよい。

校庭の広さについて

○天倉委員

文科省が出しているルール上はトラック1周150mから200mというふうになっている。150mだとカーブが急。特に6年生の男の子はあのカーブは難しい。

○教育長

中学校は大体200m

○福田委員

取れるんだったら200mぐらいの方がいいと思う。

○教育長

できれば200mが望ましいかなというところですね。

児童クラブについて

○大石課長

旧津宮幼稚園を使っていわみ福祉会が放課後児童クラブと放課後等デイサービスを運営されているが、先ほど示した図面では工事用道路が当たる形になっている。そこでこれをどう整備するか検討した結果、いわみ福祉会が自前で建てることになり、小学校の敷地内に用地を確保することになった。

午後 3時38分終了